



経験
プラス
刷新
力



ひもの通信 2020年 錦秋号

充実!!

石川の「福祉」
「スポーツ・教育・国際交流」
「安心・安全・医療」

石川県議会議員

ひもの
義昭よしあき

ふるさと「石川・金沢」の限らない発展に向けて
「新しい生活様式」の徹底を!

もっと本気で!!

皆さんお元気ですか!日頃よりのご指導とご厚情に心から感謝申し上げます。

さて、年初からのコロナ禍もあっという間に9か月が経ちました。国内での感染者は今なお増え続け、あっという間に8万人を超えて、死者も1,500人までに達しました。県内でも新たなクラスターが発生して、勢いは止まりそうにありません。感染した方々にお見舞いを申し上げ、最前線にいる医療従事者の献身的な活動には感謝の言葉がありません。私もこの春に県議として30年目を迎えましたが、初心を忘れず「皆様に喜んでいただける仕事を一杯すること」に引き続き取り組んでいきたいと思ひます。これからも「経験プラス刷新力」という言葉を胸に刻みながら、元気なふるさとを目指して全力で頑張ります。これからも応援してください。



旧知の橋本聖子五輪担当大臣をお迎えして

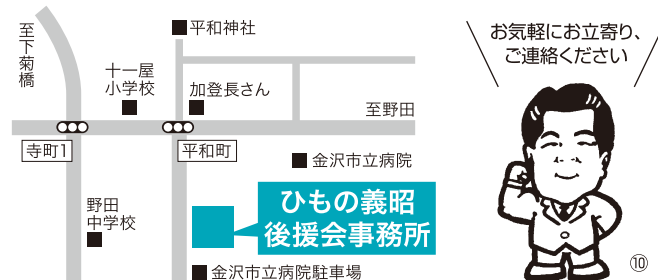
石川県議会議員

ひもの義昭

プロフィール

昭和30年9月9日金沢市内で生まれる。現在65歳。
地元の市立十一屋小学校、野田中学校、そして県立金沢泉丘高等学校に学ぶ。子どもの頃より、地域や団体のお世話や政治に関心が深かった父親の影響を受け、政治家を目指す。早稲田大学政経学部に進学、卒業後、森喜朗代議士の秘書となり、地方議員の役割、責務等を学ぶ。「青年の政治参加」と「地域の発展」をスローガンに、昭和58年金沢市議会議員選挙に出馬、最年少記録27歳での初当選。平成3年石川県議会議員に初当選、以来、連続8期。家族は妻と次男そして父親の4人家族。(長男夫婦独立)平成20年、第89代石川県議会議員に就任。これまでに、議会運営委員会委員長、石川県監査委員、日韓友好促進議員連盟会長(現在)、自民党石川県連では副会長、幹事長、総務会長、政調会長、青年局長などを歴任。

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| ●石川県都市計画審議会委員 | ●石川県障害者スポーツ協会々長 |
| ●石川県体育協会理事 | ●石川県ラグビーフットボール協会々長 |
| ●金沢日曜野球連盟顧問 | ●いしかわ観光振興議員懇話会々長 |
| ●石川県音楽文化協会常任理事 | ●石川県薬剤師連盟顧問 |
| ●日本保育協会石川県支部・日本保育推進連盟顧問 | ●石川県釣り団体協議会顧問 |
| ●自衛隊金沢駐屯地協力会副会長(事務局長) | |
- ※記載の役職は一部です。



よしあき
ひもの義昭 後援会事務所

〒921-8105 金沢市平和町 3-3-24

☎ 076-241-7744

[FAX] 076-241-4764 info@himono-yoshiaki.jp

https://www.facebook.com/himono-yoshiaki

ホームページはコチラから▶ ひもの義昭 | 検索

ひもの義昭の
詳しい情報満載!
ぜひご覧下さい。

ひもの義昭は主張します

誰よりも多く、本会議場で質問に立ってきました。

1. 福祉の充実

- ★金沢市内の新しい交通ネットワークの構築による高齢者、障害者にやさしい街づくりを推進
- ★学童保育、結婚支援など総合的な子育て支援、少子化対策の充実
- ★難病患者支援や障害者の雇用促進などやさしい社会体制づくりを推進
- ★精神障害者生活基盤の改善 ★発達障害者(児)支援策の充実・拡大



2. スポーツ・教育・国際交流の充実

- ★スポーツの振興や競技力向上、武道館建設などの施設整備を推進
- ★障害者や高齢者が気軽にスポーツを楽しめる環境づくりの推進
- ★建学の精神を尊重した私立幼稚園・学校・専修各種学校への支援策の充実
- ★栄養教諭、職員の活用による「地産地消」「食育」の充実
- ★生命尊重教育の実践



東京パラリンピック出場のカヌー選手
瀬立モニカさんと

3. 安心・安全・医療の充実

- ★国民病であるガン予防対策の充実
- ★医師・看護職員・薬剤師の不足解消施策の充実
- ★子どもや障害者の医療費の助成制度の充実・拡大
- ★タバコの煙から子どもや高齢者を守る施策の充実
- ★新型コロナウイルスなど感染症対策
- ★かかりつけ薬局、医薬分業の確立による県民の健康保持施策の充実



鼠多門・
鼠多門橋完成



金沢城の西側、黒い海鼠漆喰が特徴の「鼠多門」と、城内最大規模の木橋「鼠多門橋」が、明治期に失われて以来約140年ぶりに復元整備され、往時の姿が甦りました。完成に伴い、長町武家屋敷跡から尾山神社、金沢城、兼六園そして本多の森公園、国立工芸館へ続く新しい観光ルート「加賀百万石回遊ルート」が誕生しました。

GoTo早期実施を旅館ホテル組合が支援要望!!

自民党の県議らでつくる県観光産業振興連連は、地元国会議員を招いて懇談会を開き、新型コロナの影響を受けた県旅館ホテル生活衛生同業組合との意見交換を行なった。多田計介理事長(同全国組合連合会長)は「GoToキャンペーン」の早期実施、融資の返済猶予などの支援を要望した。馳浩、佐々木紀、西田昭二の各衆議院議員と山田修路、宮本周司両参議院議員が出席。組合の代表者8人が固定資産税の減免措置の今年度分への遡及適用、発熱などの症状がある人の宿泊に関する法改正を求めた。

石川県観光産業振興議員連連懇談会 2020.7.27



冒頭に会長としてご挨拶
右:馳浩代議士 左:山田修路参議院議員



国会議員側は実現に向けて国、政府へ早急に働き掛けることを約束した

友の会の主な行事

今年のトロピカルビアパーティは中止となりました。

今後の行事予定

その他にも、いろんな行事と活動をしています。

10月20日(火).....秋のゴルフ愛好会コンペ
(小松カントリー)

11月 7日(土).....映画会(県立美術館)

11月23日(月・祝) ...ボウリング大会
(御経塚グランドボウル)



昨年ボウリング大会にお友達同士で参加の
令和CCガールズの皆さん

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して行います。

詳しくは、ひもの事務所までお問合せください。

トンボとり
寄り目になって
にらめっこ
紐野さんの寄り目が見てみたい!!
たまには奥様とにらめっこしてみよう!!
運者 馳 浩 衆議院議員

自民党広報誌「ひもの」10月号の川柳に選ばれました。お題は、勝ち虫と呼ばれる縁起物の「トンボ」です。



馳代議員、日本水泳連盟の坂元専務理事との懇談

これまで県議会議員として 8期 30年間、本会議場では 90回以上質問に立ち、知事をはじめ執行部に提案、実行を求めました。これからも変わらず皆様の生のお声を必ず伝えていきます。



国立工芸館 東京から金沢へ10月25日開館!!



国立工芸館の移転について

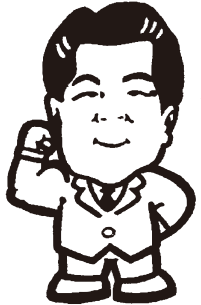
国の地方創生施策の一環である政府関係機関の地方移転として、東京国立近代美術館工芸館が石川県金沢市に移転します。国立工芸館は、日本で唯一の国立で工芸を専門とする美術館であり、石川県への移転により日本海側初の国立美術館が誕生します。重要無形文化財保持者(人間国宝)や日本芸術院会員の作品約1,400点をはじめ、現工芸館が所蔵する日本の工芸の歴史を語るうえで欠かせない美術工芸作品約1,900点以上が東京から移転します。名誉館長には、伝統工芸の支援や発信を続ける元サッカー日本代表、中田英寿氏が就任。今後、観光面においても大きな期待がかかります。**場所は「兼六園周辺文化の森」と呼ばれるエリア、石川県立美術館隣です。**

菅内閣発足

行政の縦割り打破



菅義偉自民党総裁は、第99代の首相に就任した。菅首相は、「国民のために働く内閣を作る」と述べ、新型コロナウイルス対策と経済再生を最優先に、行政の縦割り打破や規制改革に取り組む方針を示した。



頻発する自然災害を受け、石川県議会でも防災、減災に積極的に取り組む必要がありますが、残念ながら、ふだんから議論し対策を考える専門の委員会はありませんでした。

選挙公約を果たせました!!

「災害・県土強靱化対策特別委員会」が設置されました。

これまでのコロナ対策について聞く!

全国で院内感染が発生し多くの人が亡くなりました。基礎疾患があれば重症化するリスクが高く、地域の医療崩壊につながる危険もあり、入院患者や医療従事者の感染防止は最大の課題です。

全国で院内感染が発生した主な病院

永寿総合病院(東京都)	感染者 214人	死者 43人
中野江古田病院(東京都)	感染者 115人	死者 29人
二ツ屋病院(石川県)	感染者 86人	死者 23人
全国3番目の多さ		
聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院(神奈川県)	感染者 80人	死者 21人
金沢医療センター(石川県)	感染者 68人	死者 7人
明治橋病院(大阪府)	感染者 52人	死者 10人
東京都立墨東病院(東京都)	感染者 43人	死者 4人
富山市立市民病院(富山県)	感染者 37人	死者 2人
やわたメディカルセンター(石川県)	感染者 31人	死者 0人

2度目のクラスター対策班からの同じ指摘内容を考えると、本当にゾーニング自体できていたのかは甚だ疑問。

石川県の担当者が「ゾーニング後に感染が拡大した可能性は否定できないと対応の限界を認めた」と全国ニュースで流れていたが、その意味は?

5月10日頃は国では出口戦略を考えた時期であり、緊急事態宣言を解除するためには感染病床の使用率が低くなくてはならなかった。急遽の協力病床63床の上積みにより特定警戒都道府県の解除が決まるまで、転院を先送りしていたと考えておかしくはない。

健康福祉部長
もともと基礎疾患がある、介助の必要度が高いなど、個々の患者の状況に対応できる病院に転院をする必要があり、最終的には5月20日に転院が完了。

健康福祉部長
他の病院の感染病床などへの感染患者の転院はなぜ遅れたのか。

転院への対応が遅すぎた。

健康福祉部長
介護療養病床では当初48床に対して14人いた看護師が感染や濃厚接触により最終的には1人しかいなくなったなど、まさにここで医療崩壊が起きていた。

健康福祉部長
防護具など物品を介した感染予防対策が徹底できていなかったことにより、ゾーニング後にも院内で感染拡大した可能性を否定できないと認めた。

二ツ屋病院での院内感染の対応について

初動対応は間違っていないのか?

4月19日から急速な拡大が進んでいた。しかし、初動対応は十分でなかったから、その後の感染が広がったのではないのか?

健康福祉部長
院内に感染が蔓延していることが判明した時点で、直ちに厚生労働省にクラスター対策班の派遣を要請。

なぜ感染者を受け入れる医療機関名を具体的にしないのか?

健康福祉部長
感染者を受け入れる医療機関の名称や病床数は、風評被害や偏見、差別の対象となるなど混乱を招くおそれがあり、各医療機関の御意向も尊重して公表していない。

情報公開

受け入れ病床数

当初「500床以上確保」と知事が議会でも答弁をしていたが、実際には確保できてなかった?

健康福祉部長
新型インフルエンザに係る行動計画における病床確保を参考に、県内医療機関に病床の確保を依頼、確保できた170床を厚労省に報告。

必要な感染症病床は確保できていたのか?

当初議会に引き続き予算委員会に立ち、知事、健康福祉部長にコロナ対策を巡り疑問を呈した。第1波が落ち着いた今こそ、第2波に備えて、これまでのコロナ対策を検証する必要があります。存在しなかった500床をあると言い、3月の本会議では知事に做って執行部は誰ひとりマスクをしていないなど、知事はどこか人任せだった。今でも各本知事の数々の発言に対する抗議のコメントや「昔来て今は来るなコロナ」と知事叫ぶこんな川柳がネット上には流れています。知事を選んだ石川県民に疑問符がつかないよう、完全終息まで油断なく頑張ってもらいたいと考えます。

感染症対策には危機感と積極的な対応が重要!!

二ツ屋病院では86人が感染、21人が亡くなり、異常なことではない?

令和2年 第3回定例会

予算委員会質問

令和2年6月24日

新型コロナウイルス関連については、日常生活で不安に感じることや事業・個人への支援制度などを含め、わからないことはなんでも、右記へお問い合わせください。もちろん私に直接ご相談いただいても結構です。宜しくお願いいたします。

石川県
石川県事業者支援ワンストップコールセンター
【E-mail】onestop@pref.ishikawa.lg.jp
【電話】076-225-1920

金沢市
金沢市保健所 地域保健課
【E-mail】tikiho@city.kanazawa.lg.jp
【電話】076-234-5102 【FAX】076-234-5104